

[illegible]

総括表

工事名	令和元年度 台風19号に伴う小田污水ポンプ場災害復旧工事					事業区分 工事区分	下水道 処理場・ポンプ場
工事区分・工種・種別		単位	数量	単価	金額	摘要	
電気設備復旧工事	式	1					
機械設備復旧工事	式	1					
建築電気設備復旧工事	式	1					
建築設備復旧工事	式	1					
工事価格計							
消費税等相当額							
本工事費計							

[illegible]

第1号 内訳書

機 器 費(電気設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自家用発電機	120KVA×200V・排気ダクト,排気伸縮継手含む	台	1			
時延形漏電リレー	電流動作形・EL25PO	個	2			
不足電圧継電器	QHA-UV1	個	2			
トランス	STD-5KB	台	2			
避雷器	MAAC-100	個	1			
進相コンデンサ	SH(MF)400 μ F	個	1			
	N1形30 μ F	個	2			
	N1形20 μ F	個	4			
	N2形・乾式400 μ F	個	1			
	N2形40 μ F	個	1			
	N2形30 μ F	個	1			

第1号 内訳書

機器費(電気設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
カレントコンバーター	SET-3A	個	2			
警報設定器	AM-132A-1V-15-1	個	1			
配線用遮断器	SA32/30K	個	3			
	SA32/10K	個	1			
	SA33/30WF	個	1			
	EA53/50WF	個	1			
	SA53/10WK	個	2			
投込圧力式水位計	測定範囲:0m～0.8m(2.0m)	台	1			
電磁接触器	SC-1N(26)	個	2			
	SC-2N(35)	個	2			
	SC-4N(80)	個	2			

第1号 内訳書

機 器 費(電気設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要
モーターリレー	SE-K1N	台	2					
電磁開閉器	SRC3631-5-1N	個	2					
サーマル	TH-1LH	個	2					
リレーユニット	RE200	個	2					
漏電遮断器	NV30-CS	個	1					
電磁開閉器	MSO-T10	個	1					
端子台	AYBS041	個	5					
	AYBS043	個	1					
	AYBS021	個	17					
	AYBS026	個	1					
	AYBN20	個	6					

第1号 内訳書

機 器 費(電気設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
露出コンセント	125V15A	個	3			
押しボタンスイッチ	RCA470/FB1	個	12			
コマンドスイッチ	253C	個	1			
操作スイッチ	NS387/1+1mHB	個	1			
漏電遮断器	EW250EAG	個	1			
	EW50AAG	個	1			
単3式安全ブレーカ	SVB型	個	1			
埋込スイッチ	(片切)	個	11			
埋込コンセント	2P	個	7			
合計						

第2号 内訳書

直接材料費(低圧ケーブル)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
600Vケーブル	EM-CEE・2.0mm2-4C	m	60			
	EM-CEE・2.0mm2-5C	m	60			
	EM-CEE・2.0mm2-8C	m	60			
	EM-CEE・2.0mm2-10C	m	200			
	EM-CEE・2.0mm2-20C	m	120			
	EM-CE・3.5mm2-2C	m	60			
	EM-CE・3.5mm2-3C	m	450			
	EM-CE・8.0mm2-3C	m	50			
	EM-CE・22mm2-3C	m	200			
	EM-CET 8	m	60			
	EM-CET 100	m	100			
	EM-IE 3.5G	m	300			

第2号 内訳書

直接材料費(低圧ケーブル)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
600Vケーブル	EM-IE 22G	m	100			
	EM-IE 38G	m	100			
通信用ケーブル	EM-CPEE-SC 0.9-7P	m	100			
付属材料費	ケーブル・電線類付属材料費	式	1			
プルボックス	500×500×400	個	1			
ダクター	ZAM SD-1	本	5			
	ZAM SD-2	本	5			
吊金具	3mm～6mm用・Z-PH1	個	20			
	9mm～24mm用・Z-PH1W	個	20			
	3mm～24mm用・Z-PH1U	個	50			
メッセンジャー	22Sq 30m巻	巻	1			
メッセンジャーグリップ	22Sq	本	4			

第2号 内訳書			直接材料費(低圧ケーブル)										
項	目	形	状	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
合計													

第3号 内訳書

一般労務費(電工)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
新設 機器						
電 工		人				
新設 直接材料						
電 工		人				
撤去 機器						
電 工		人				
計						

第4号 内訳書			技術労務費(技術者)					
項 目	形 状	単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要
技術者	新設	人						単体調整、試験
技術者	新設	人						
技術者	撤去 電工読替	人						
計								

第5号 内訳書				複合工費(基礎工)				
項 目	形 状	単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要
自家発電機基礎工	コンクリート基礎	箇所	1					第9号内訳書
自家発電機燃料槽基礎工	鋼製基礎・H=1.40m	箇所	1					
計								

第6号 内訳書

複合工費(屋根撤去復旧工)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
既存屋根大波スレート撤去工		枚	16			
大波スレート葺き	L=1820	枚	16			
大波スレート処分費		式	1			
母屋鉄骨切断工	レシプロソー切断	箇所	14			
繁ぎ梁・水平部レース撤去・復旧	副資材含む	式	1			
母屋復旧工		式	1			
計						

第7号 内訳書

機械経費

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機械経費(率)		式	1			
ラフテレーンクレーン	60t吊	日				
計						

第8号 内訳書			仮設工(積上げ)					
項 目		単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要
外部足場 (くさび緊結式足場)	手すり先行方式・H=10m未満・ W=900	架m2	59					
災害防止施設	養生シート	架m2	59					
内部足場工 (枠組柵足場)	H=3.6m以上	伏m2	59					
盛替費		回	1					
計								

第9号 内訳書

自家発電機基礎工

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート工	ポンプ打設・24-8-25	m3	19			第1号代価表
型枠工	鉄筋構造物	m2	12			第2号代価表
鉄筋	D13	t	0.27			第3号代価表
支保		空m3	5			第4号代価表
手摺設置工	H=1.10m	m	12.8			第5号代価表
アンカーボルト設置工	M20×400	本	6			第6号代価表
計						

第1号 代価表

コンクリート工

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート工	24-8-25、無筋・鉄筋構造物、ポンプ打設、一般養生	m3	1			
計						

第2号 代価表

型枠工

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
型枠工	鉄筋構造物	m2	1			
計						

第3号 代価表

鉄筋工(市場単価)

項 目		単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要
鉄筋工(市場単価)	SD345、鉄筋構造物	t	1					第7号代価表
計								

第4号 代価表

支保工

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
パイプサポート支保・くさび結合 支保		空m3	1			第8号代価表
計						

第5号 代価表

手摺設置工

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
手摺・H=1.10m		m	12.8			
コンクリート削孔	30mm以上200mm未満	孔	28			
立入防止策設置		m	12.8			第9号代価表
計						(12.8m当たり)
計			1m当たり			

第6号 代価表

アンカーボルト設置工

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
アンカーボルト設置工	M20×400	本	1			
計						

第7号 代価表

鉄筋工(市場単価)

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		t	1.03			
鉄筋工 加工・組立共一般構造物		t	1			
計						

第8号 代価表

パイプサポート支保

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
型枠工		人				
とび工		人				
普通作業員		人				
諸経費		式	1			
計						
計			空m3当たり			

第9号 代価表

立入防止策設置

項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
諸経費		式	1			
計						
計			1m当たり			

[illegible]

第 1 号 内訳書

機 器 費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
No.1汚水ポンプ	φ 200× φ 150× 3.5m ³ /min× 30m・耐水型	台	1			
No.2汚水ポンプ	φ 200× φ 150× 3.5m ³ /min× 30m・耐水型	台	1			
No.1吐出電動弁	φ 200mm 72H水没可能型	台	1			
No.2吐出電動弁	φ 200mm 72H水没可能型	台	1			
モーター(脱臭ファン)	1.5Kw× 200V	台	1			
モーター(破砕機)		台	1			
計						

第 2 号 内訳書

一般労務費(普通作業員)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
新設						
普通作業員		人				
撤去						
普通作業員		人				
計						

第 3 号 内訳書

機械設備据付労務費(機械設備据付工)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価		金 額		摘 要
新設								
機械設備据付工		人						
撤去								
機械設備据付工	設備機械工読替	人						再利用しない。
機械設備据付工		人						再利用する。
計								

[illegible]

第 1 号 代 価 表

名 称	形 状 寸 法	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
代価表	電灯設備					
コンセント	2W15A×2	個	8			
雑材料費（コンセント）		式	1			
蛍光灯（LDL40×1）	笠付防湿防雨型 NNFW41201LE9	台	2			
蛍光灯（LDL40×2）	笠付防湿防雨型 NNFW41201KLE9	台	2			
パイプ吊金具		組	4			
雑材料費（蛍光灯）		式	1			
一般労務費（新設）	電工	人				
一般労務費（撤去）	電工	人				
合計						

[illegible]

第 1 号 代 価 表

名 称	形 状 寸 法	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
代価表	AD-1 扉交換					
AD-1 扉交換	両開きフラッシュドア戸・扉のみ W1.80m×H2.00m	箇所	1			
金属製建具撤去	両開きフラッシュドア戸・扉のみ W1.80m×H2.00m	箇所	1			
鋼製建具取付	両開き・1800×2000	m2	3.6			
ドアクロザー	S-22標準	組	1			
シリンダー錠	幅70mm	組	1			
ドアクロザー取付		箇所	1			
網入ガラス取付	FW6.8・4.45m2以下	m2	1.1			材工共
ガラス止シーリング	6×6	m	5.8			材工共
計						

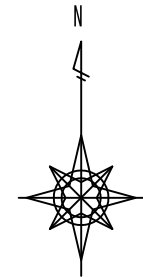
一 特 記 仕 様 書 一 施 工 条 件 明 示 書

工事番号	七建第19-505号	工事名	令和元年度 台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事	事務所名	宮城県七ヶ浜町水道事業所						
項 目	条 件	内 容	施 工 方 法	備 考							
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。									
2 主任技術者及び監理技術者（以下、配置技術者という。）の配置											
(1) 現場施工に着手する日の指定 （配置技術者の配置要件の特例） ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	○ あり ● ない	平成 年 月 日（「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能） 請負者が着手日を選択出来る工事（フレックス工事） 契約日から〇〇日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。 請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。（共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8） 上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/kk50.htm									
3 工程関係											
(1) 関連工事による施工時期の調整	○ あり ● ない										
(2) 施工時期による制限	○ あり ● ない										
(3) 関係機関等との協議の未成立	○ あり ● ない										
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	○ あり ● ない										
4 公害対策関係											
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	○ あり ● ない										
5 安全対策関係											
(1) 交通安全施設等の指定	○ あり ● ない										
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	○ あり ● ない										
6 排水工関係											
(1) 濁水、汚水処理のための特別な対策の必要性	○ あり ● ない										
7 建設副産物対策関係											
(1) 共通事項	下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること（環境省または循環型社会推進課のHPを参照）。 処理・処分する場所 処理・処分方法 距 離 制 限 時 間 工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。										
(2) 建設発生土	処理・処分	○ あり ● ない		km	時 分 ～ 分						
(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	○ あり ● ない	km	時 分 ～ 分						
	処理・処分	アスファルト塊	○ あり ● ない	km	時 分 ～ 分						
	処理・処分	建設発生木材	○ あり ● ない	km	時 分 ～ 分						
	処理・処分	建設汚泥	○ あり ● ない	km	時 分 ～ 分						
	処理・処分	その他(廃材)	○ あり ● ない	km	時 分 ～ 分						
(4) 再生材の利用		○ あり ● ない	種類・数量								
8 工事現場のイメージアップ		○ あり ● ない	内容	イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。							
9 品質証明											
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認 チェックリストの対象	○ あり ● ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。									
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象	○ あり ● ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。									
10 標準的な設計図書による発注方式	○ あり ● ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。									
11 資材関係											
(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。										
(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。										
(3) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。 「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は環境政策課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出（電子メール）すること。	必須 ○ あり ● ない ○ あり ● ない ○ あり ● ない	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。 2. 盛土材、埋め戻し材 3. その他（ ） 4. その他（ ）									
(4) 現場吹付法枠工	吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。										
12 その他											
(1) 舗装の下請制限について	○ あり ● ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。									
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	○ あり ● ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）も同様の義務を負う旨を周知すること。									
(3) 三者会議の対象の有無	○ あり ● ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。									
(4) 貸与資料の有無	○ あり ● ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料（ ）									
(5) 発注者支援（工事監督支援業務）対象の有無	○ あり ● ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者（所属会社等名・氏名）の通知を行うこと。									
(6) 工事写真の電子化の対象の有無	● あり ○ ない	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報基準(案)に基づき電子とすること。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認めることとする。									
(7) 工事実績情報システム(コリンズ)登録	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。										
(8) 工事書類の簡素化の試行について	○ あり ● ない	1. 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2. 「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合せ簿、材料確認書、段階確認書、立会願、夜間・休日作業届の書類を提出については、電子メール活用を基本とする。 3. これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。									

東日本大震災に伴う特例制度

項 目		条 件		内 容		施 行 方 法		備 考	
13 積算基準及び設計単価の適用期日									
(1)積算基準及び設計単価の適用について		●	○	ある	ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。			
(2)工事請負契約締結後における設計単価の変更		○	●	ある	ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の設計単価とする。			
14 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用									
(1)労働者確保に関する積算方法の試行工事		○	●	ある	ない	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。))について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部)においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 0.00% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、 0.00% 通勤等に要する費用)の割合: 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。			
(2)労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事		○	●	ある	ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。			
15 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更									
(1)遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更		○	●	ある	ない	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。 また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、砕石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。 受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積り書 6 その他、必要と思われる事項			
16 施工箇所が点在する工事の間接費の積算									
(1)施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事		○	●	ある	ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○ ○)、□□地区(施工箇所○○)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。 本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。			
17 その他									
(1)機械損料の補正について		○	●	ある	ない	本工事で使用するブルドーザ(リッパ装置付きブルドーザを除く)、バックホウ、ダンプトラック(建設専用ダンプトラックを除く)については運転1時間(日)当たりの損料に105/100 を乗じている。			
(2)土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い		○	●	ある	ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。			
(3)東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について		○	●	ある	ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.5 現場管理費:1.2			
※ 条件欄に「ある」と記入した場合は内容、施工方法等を記入すること。									
特 記 事 項									
1 追加事項1									
(1) 追加		本工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示していない事項で工事の性質上当然必要なものは、工事監督員と協議の上施工すること。							
(2) 追加		関係官庁へ許認可申請、報告、届出等の必要がある場合には監督員との協議のうえ資料作成等速やかに行うこと。							
(3) 追加		設計図書の訂正又は変更等において、監督員の必要とする書類を作成すること。							
(4) 追加		条件を満たす場合は、現場代理人の兼務を認める。							
(5) 追加		その他必要な事項は、本町と請負者の協議の上決定するものとする。							

位置図 S=1:10,000



凡 例	
記 号	名 称
—<—>—	全体計画区域
—	主な幹線管渠
◎	中継ポンプ場

工事番号	七水第19-505号		
施工箇所	七ヶ浜町 東宮浜宇北下方 地内		
工 事 名	令和元年度 台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事		
図 面 名	位置図		
縮 尺	1:10000	図面番号	1/6
宮城県七ヶ浜町			

小田汚水ポンプ場1階平面図

電気・機械設備

受電盤から引込盤まで低圧ケーブル(600V)及び通信用ケーブルの配線を含む。

受電盤

⑤

低圧ケーブル(600V)及び通信用ケーブルの新設(ケーブルラック)

モーターの交換

破碎機モーター

浸水位置 H=1.29m

制御盤(引込盤・動力盤)

浸水範囲の部品交換
投入圧力式水位計交換含む。

電気設備復旧

番号	名称
①	自家発電機
②	引込盤
③	動力盤No1
④	動力盤No2
⑤	受電設備

機械設備復旧

番号	名称
⑥	脱臭ファンモーター
⑦	破碎機モーター

浸水位置 H=1.48m

脱臭ファンモーター

モーターの交換

脱臭棟

燃料槽

燃料槽基礎(鋼製)嵩上げ
H=1.40m(鋼製基礎)

浸水位置=FL+1.34m

自家発電機

低圧同期発電機120KV 330A 210V
50Hz軽油 同等品以上交換

<小田汚水ポンプ場>

工事番号	七水第19-505号		
施工箇所	七ヶ浜町 東宮浜字北下方 地内		
工事名	令和元年度 台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事		
図面名	施設平面図(電気設備・機械設備)		
縮尺	FREE	図面番号	2/6
宮城県七ヶ浜町			

自家発電機

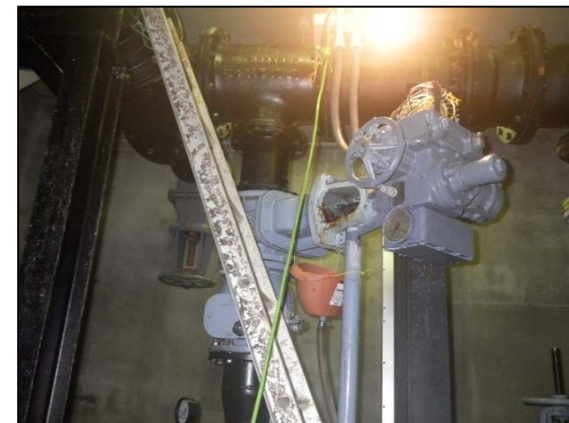
小田汚水ポンプ場・地下平面図

汚水ポンプ・吐出弁

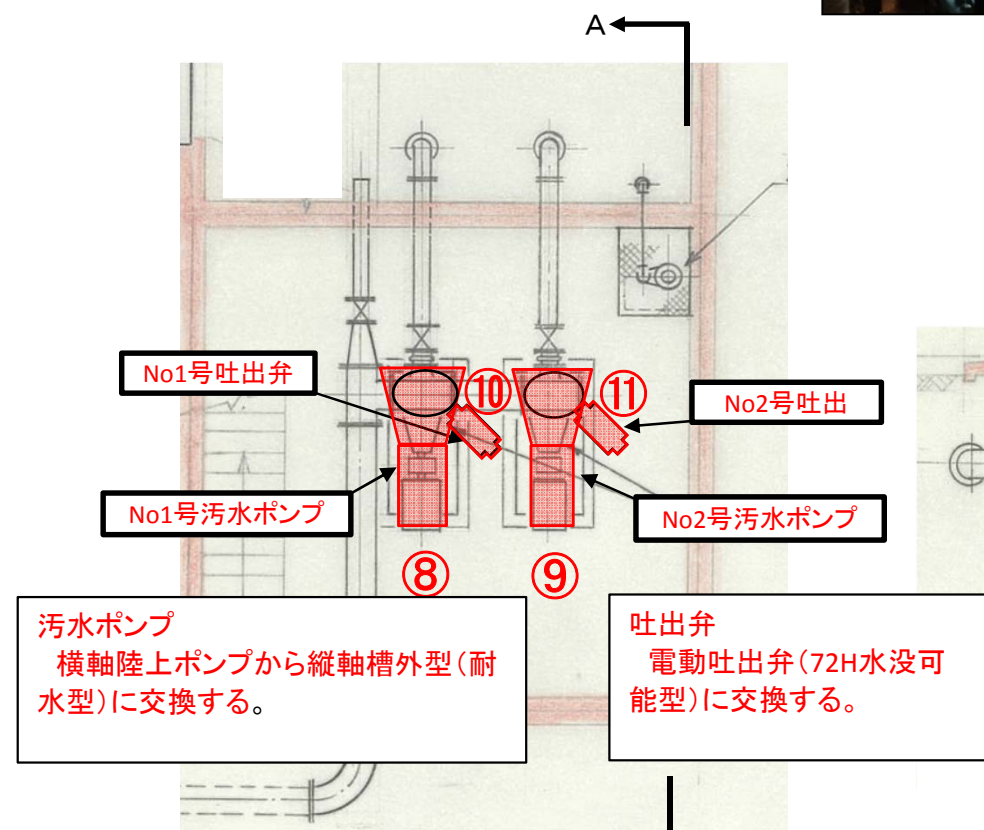
機械設備復旧工

番号	名称	定格等
⑧	汚水ポンプNo1	吸込口径φ200 吐出口径φ150 3.5m ³ /min
⑨	汚水ポンプNo2	吸込口径φ200 吐出口径φ150 3.5m ³ /min
⑩	吐出弁No1	口径φ200 回転数28.4rpm
⑪	吐出弁No2	口径φ200 回転数28.4rpm

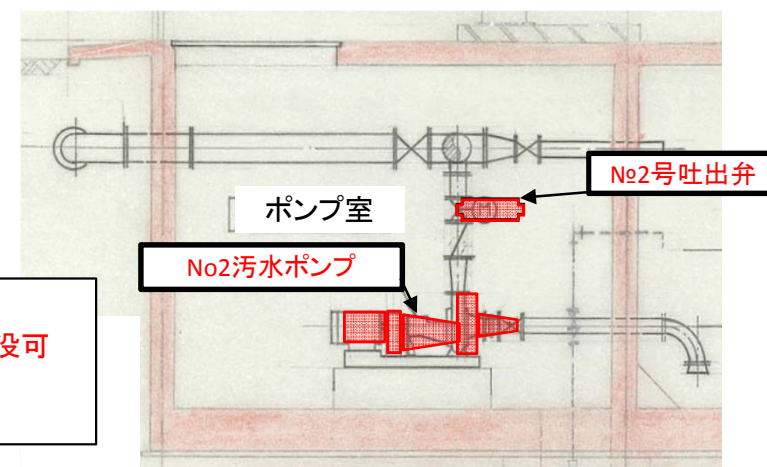
吐出弁No1・No2



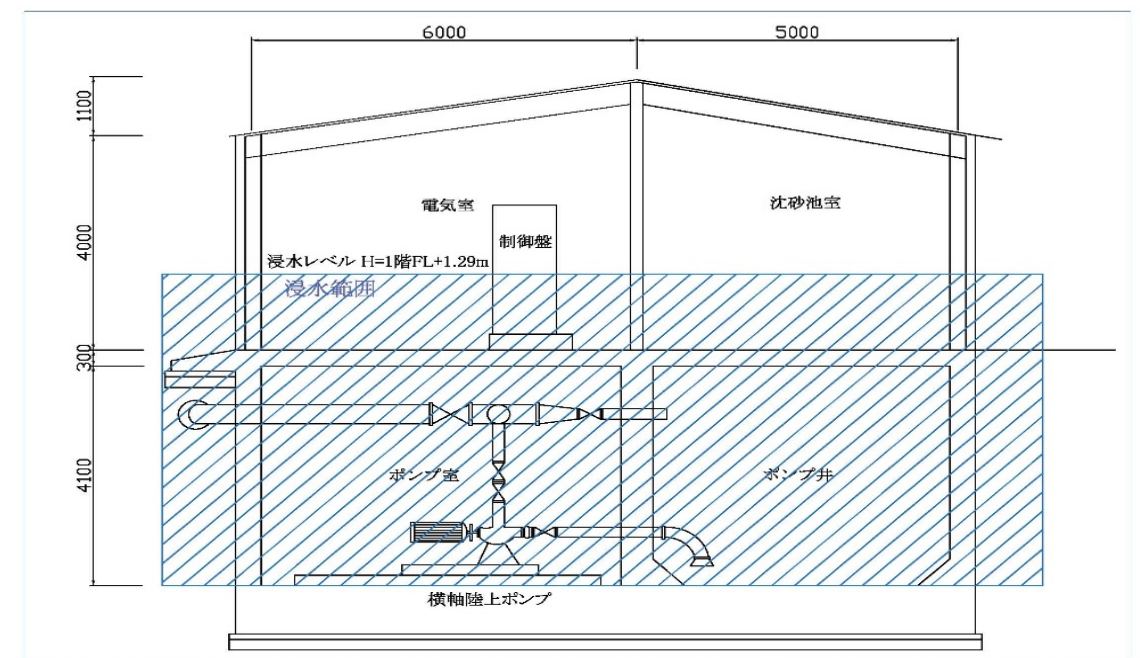
汚水ポンプ平面図



A-A断面図



地下室浸水状況



汚水ポンプNo1・No2



＜小田汚水ポンプ場＞

工事番号	七水第19-505号		
施工箇所	七ヶ浜町 東宮浜字北下方 地内		
工事名	令和元年度 台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事		
図面名	施設平面図(機械設備)		
縮尺	FREE	図面番号	3/6
宮城県七ヶ浜町			

小田汚水ポンプ場・1階及び地下平面図

1階 照明・コンセント

地下1階 照明・コンセント

①



②



⑦



建具

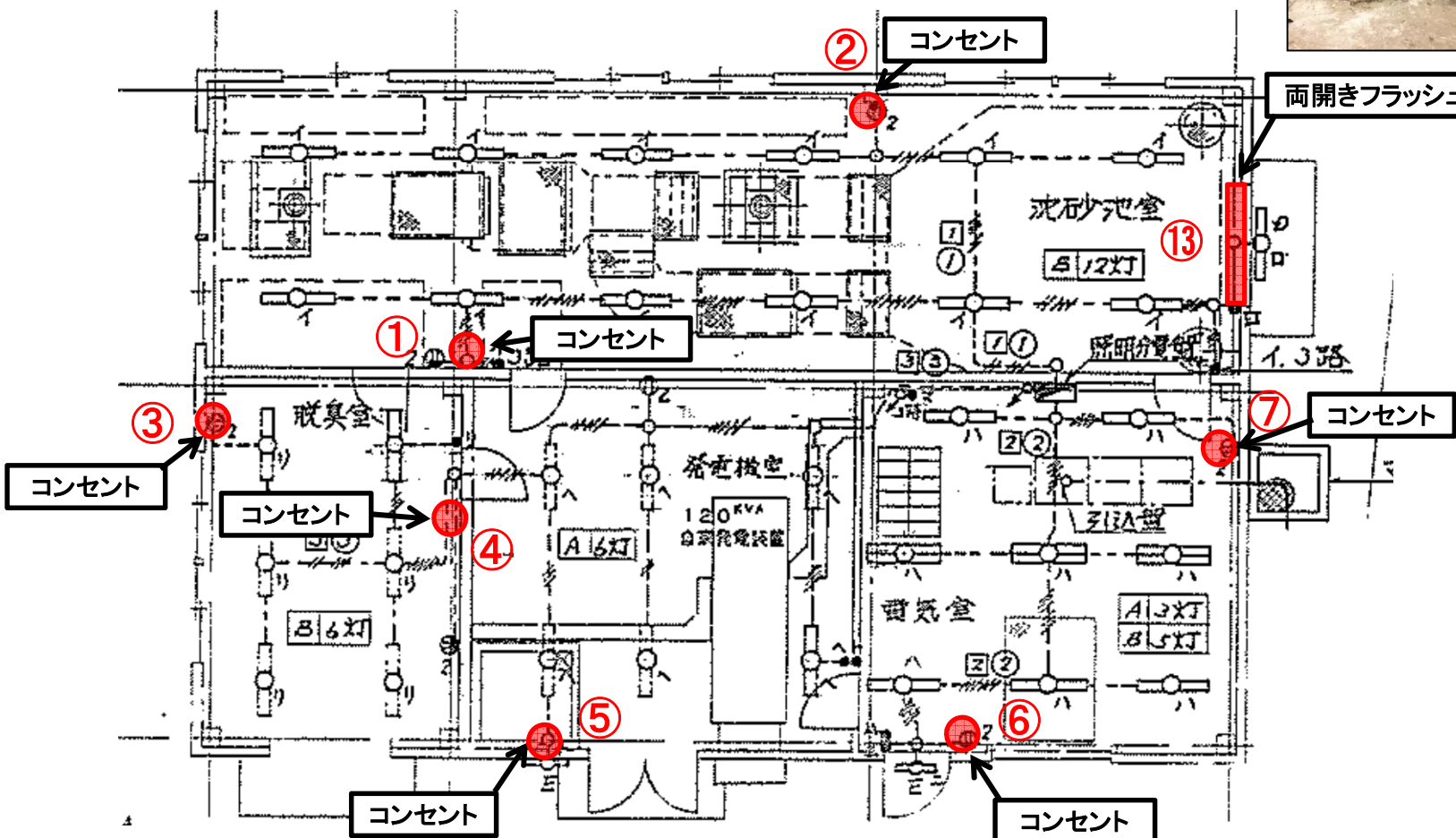
⑬



コンセント
既設と同等品以上と交換する。
設置位置は、浸水位置より上部とする。

両開きフラッシュドア
扉のみ交換。
既設と同等品以上とする。

両開きフラッシュドア



蛍光灯
既設と同等品以上と交換する。

③



④



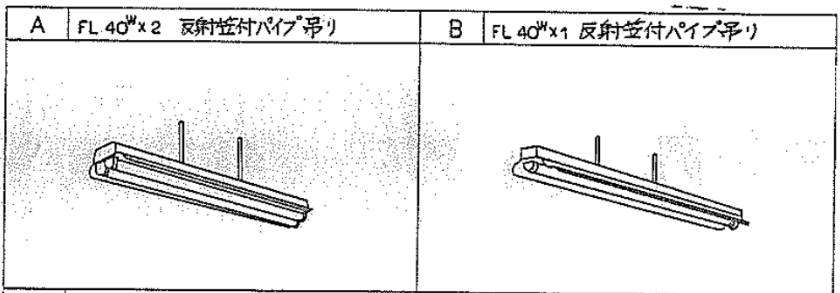
⑤



⑥



照明器具配置図



コンセント

⑧



⑨



⑨⑩照明器具(蛍光灯)FLR40W x 2灯用

⑩



⑫

⑪⑫照明器具(蛍光灯)FLR40W x 1灯用

建築電気設備復旧工

記号	名称	備考
	照明分電盤	
	蛍光灯 FL 40W x 2灯用	
	" FL 40W x 1灯用	
	" " ブラケット形	
	" FL 20W x 1灯用	
	水銀灯 HF 250W x 1灯用	
	コンセント 2P 15A (2ヶ所)	
	" E付	
	タンブラースイッチ 1P 10A	
	自動減圧器	
	露出ボックス	
	露出配管配線	
	立上げ、立下げ	
	白熱灯 1L 40W x 1灯用	

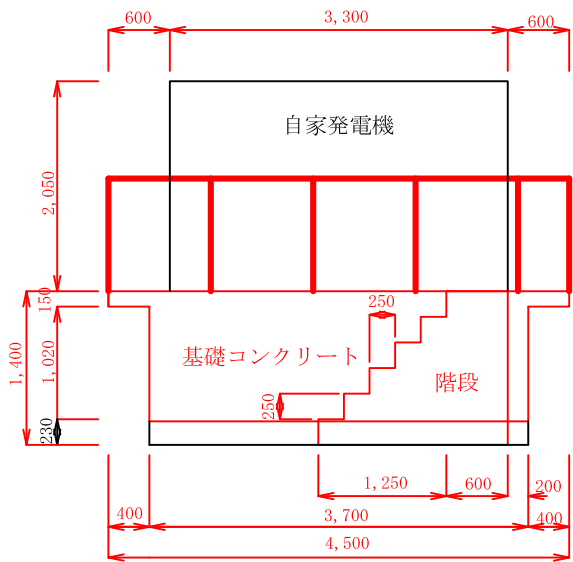
<小田汚水ポンプ場>

工事番号	七水第19-505号		
施工箇所	七ヶ浜町 東宮浜字北下方 地内		
工事名	令和元年度 台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事		
図面名	施設平面図(建築電気設備・建築設備)		
縮尺	FREE	図面番号	4/6
宮城県七ヶ浜町			

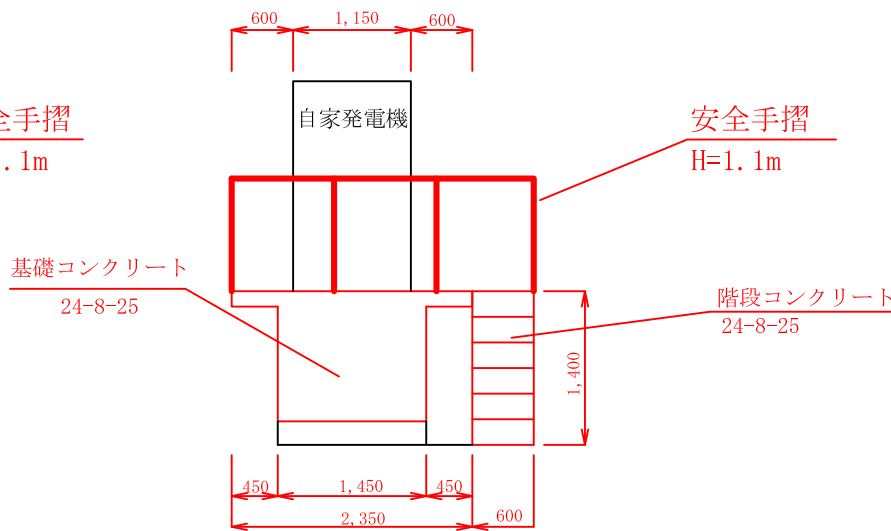
自家発電機

基礎コンクリート嵩上げ

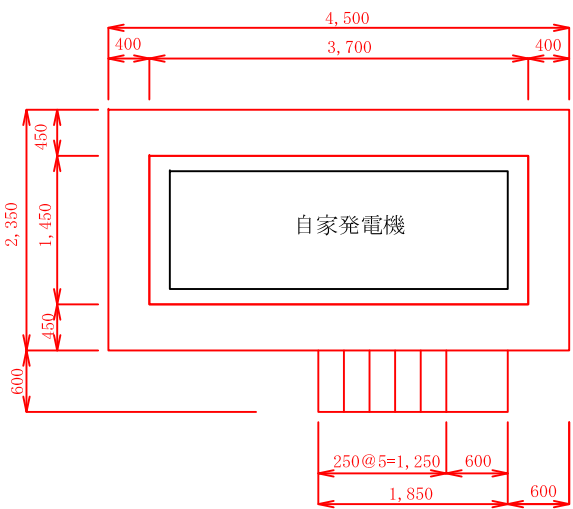
正面図



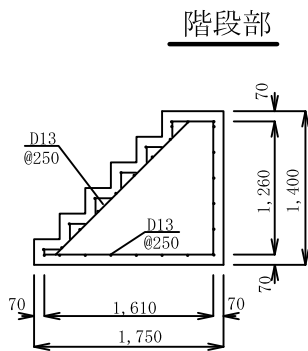
側面図



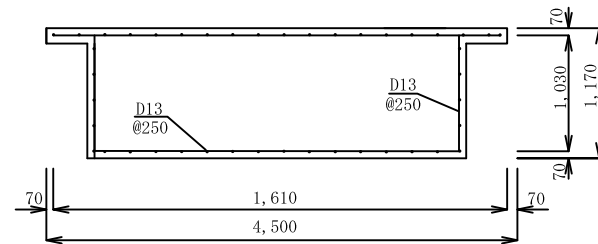
平面図



配筋図



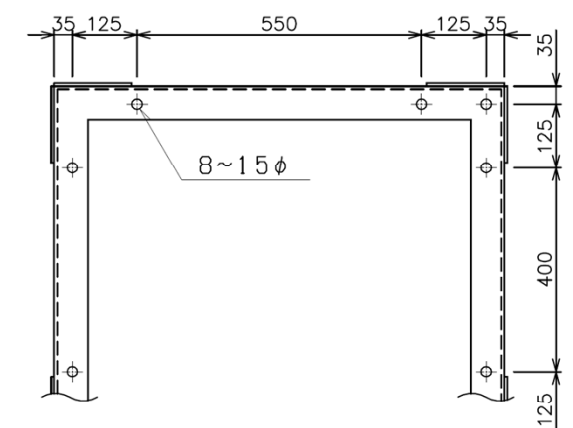
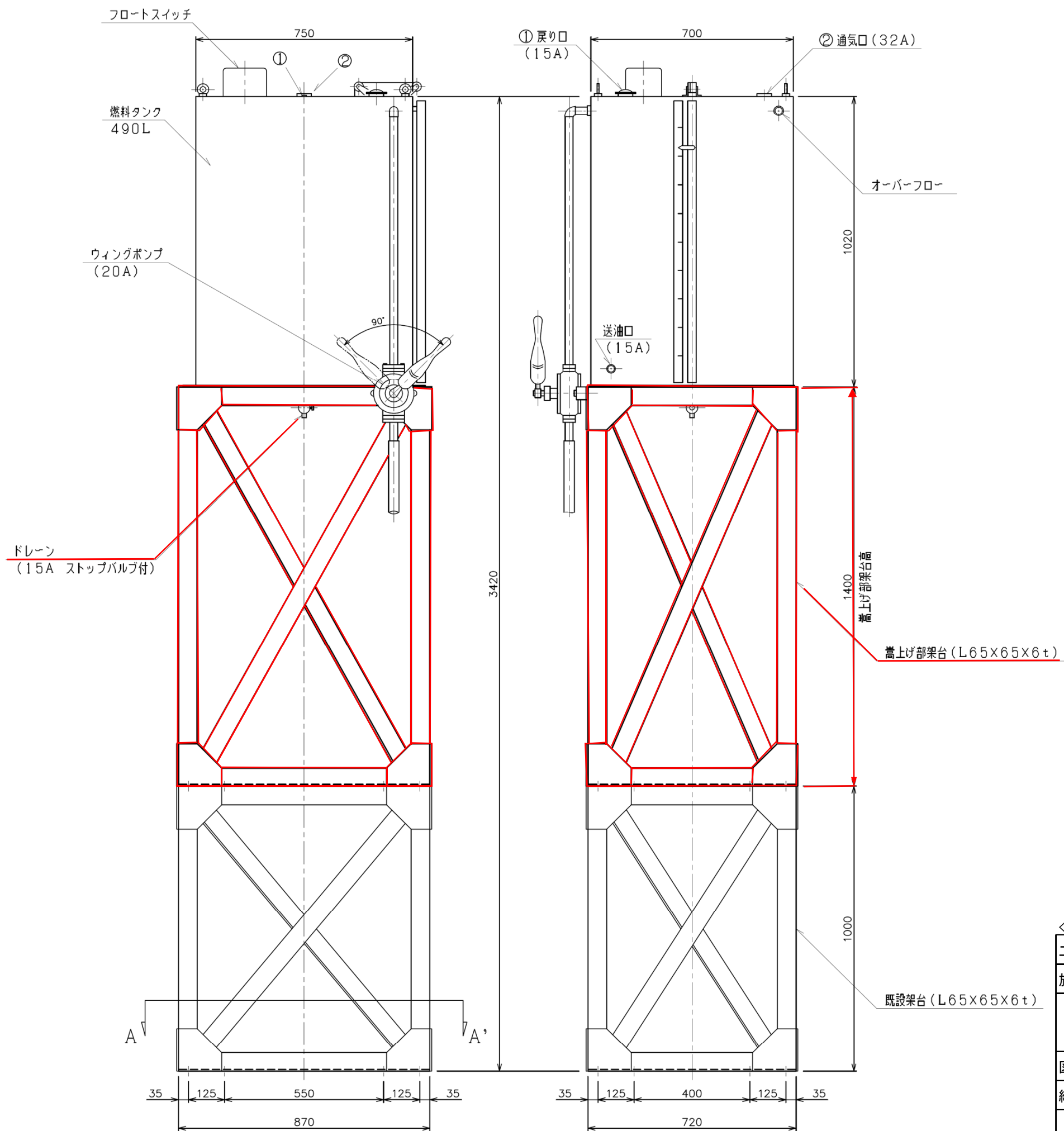
基礎コンクリート部



安全手すり

パイプ縦柵 H=1.10m 自由勾配型縦格子柵
ベースプレート式・白塗装

工事番号	七水第19-505号		
施工箇所	七ヶ浜町 東宮浜字北下方 地内		
工事名	令和元年度 台風19号に伴う小田污水ポンプ場災害復旧工事		
図面名	自家発電機基礎嵩上げ図		
縮尺	1/100	図面番号	5/6
宮城県七ヶ浜町			



＜小田污水ポンプ場＞

工 事 番 号	七水第19-505号		
施 工 個 所	七ヶ浜町 東宮浜字北下方 地内		
工 事 名	令和元年度 台風19号に伴う小田污水ポンプ場災害復旧工事		
図 面 名	自家発電機燃料槽基礎嵩上げ図(鋼製)		
縮 尺	FREE	図 面 番 号	6/6
宮 城 県 七 ヶ 浜 町			